

第2学年 生活科学習活動案

日 時 平成16年10月5日(火) 5校時
場 所 花巻市立桜台小学校
学 級 2年3組 男19名 女19名 計38名
指導者 山形 由利子

1 単元名 わくわく広場へようこそ

2 単元について

(1) 活動について

本単元は、学習指導要領の内容(6)「身の回りの自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして遊びを工夫し、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」を受けて設定したものである。

児童は、1年生の生活科の学習「おもちゃをつくろう」の単元(5時間扱い)で、紙やつまようじなど身近な材料を使って、たわらころがしやこま、ばねのかえるなどの簡単なおもちゃを作り、遊んでいる。また、2年生の「わくわく広場」に招待してもらい、2年生の作った「遊ぶもの」で遊んだ経験をもっている。

2年生になってからは、物を作って遊ぶ活動は、生活科としては今回が初めとなるが、図画工作の「出る出るマシーン」では、グループごとにダンボールを使って自動販売機のおもちゃを製作した。

また、1年生との交流については年2回計画しており、春に1年生の校庭探検と一緒にいき、案内する役割を経験した。今回の「わくわく広場へようこそ」が2回目の交流となる。1年生を招待して、楽しませてあげたいという気持ちを大切にしながら、1回目より上級生として1年生をリードする積極性をもたせたい。

そこで、本単元では、これまでの体験をもとに、身近にある材料を使って遊びを作り出す楽しさや夢中になって遊ぶ楽しさを味わえるようにするとともに、遊ぶもの作りの活動を通してクラスの友達とかかわったり、1年生と接する中で、身近な人とよりよいかかわりがもてるようになることを目指している。

(2) 児童について

これまで児童は、教科の学習や遊びを通して、簡単な物を作る経験をしてきている。しかし、これまでは、一斉に作り方を指導しその通りに作るが多かった。そこで今回は、小グループに分かれ、自分たちの考えを大切にしながら遊ぶもの作りに取り組み、作ったものに愛着をもち、生き生きと遊べるようにしていきたい。

友達とかかわることが苦手で、思いを相手に伝えられない児童が多いので、活動の中で、話しあう場面を作り話すことに慣れさせながら、友達とかかわりを深めるきっかけとなるようにしたい。さらに、1年生に楽しんでもらうためにはどうしたらよいかという視点を持ちながら遊び方やルールづくりを工夫することによって、友達の良さに気付いたり、相手を尊重する気持ちをもったりできるようにさせたい。

(3) 支援について

< 自分の思いや願いを抱く >

こんな遊ぶものを作りたいという願いがもてるように、自分の考えをあらかじめカードに書いてイメージをもたせてから、友達と相談する。イメージをつかめない児童については、昨年のわくわく広場の様子や、簡単なおもちゃ作りの本を手がかりにさせたい。その活動を通して、作りたい遊ぶもののイメージを鮮明にしながら製作するようにさせたい。

< 自分の思いや願いに基づいて活動する >

個々の願いをもとに、少人数のグループ編成にして、主体的に活動できるように配慮したい。

< 自分の思いや願いを高めたり広げたりする >

中間発表会をもつことで他のグループの作品を見たり、意見を聞いたりしながら、もっとこうしたい、改良しようという思いや願いをもたせたい。また、第2次では1年生を招待するので相手意識をもたせながら、活動を広げていくことを期待したい。

3 単元目標及び評価規準

【生活への関心・意欲・態度】

・身近にあるものを使って、友達と協力しあいながら意欲的に遊ぶものを作ろうとする。

【活動や体験についての思考・表現】

・身近にあるものを使って、工夫して遊ぶものを作ることができる。

【身近な環境や自分についての気づき】

・自分や友達の考えのよさや、楽しく遊ぶためには友達と協力し合うこと、ルール作りが大切であることに気付くことができる。

4 単元の活動・評価計画

～後述～

5 本時の指導(12/14)

(1) 授業の構想

「わくわく広場」に1年生を招待する前の最終的な練習となる。発表する側は相手の立場に立って話したり動いたりできるようにさせたい。また、1年生役のグループには、「こうすれば、もっとよくなる。喜んでもらえる。」という観点を持って参加させるようにし、みんなで楽しい会にしようという気持ちを高めていきたい。

話し合いでは、考えたことや感じたことを出し合うことにより、自分たちのためにアドバイスしてくれる友達のよさを感じ取り、よりよい発表にしようという意欲につなげていきたい。

(2) 目標

1年生に喜んでもらうためにどうしたらよいかを考えながら「わくわく広場へようこそ」の練習をすることができる。

(3) 評価規準と具体の評価規準

学習活動における 評価規準	具体の評価規準		支援
	十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	
1年生に楽しんでもらうための工夫を考えて練習したり、友達に教えたりすることができる。 [思考・表現]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生に楽しんでもらえるように声の大きさや、話し方に気をつけて練習することができる。 ・ 友達の練習のよい点、直した方がよい点を見つけ相手に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生に楽しんでもらいたいという願いをもち練習することができる。 ・ 自分の感じたことを友達に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までの活動の記録を参考に、活動が進まないことが予想される児童について、個々に感想を聞き出すようにする。

(4) 展開

	学習活動	支援と留意点	評価
つかむ3分	<p>1 めあてをつかむ。</p> <p>「わくわく広場へようこそ」のれんしゅうをしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時を想起し、「わくわく広場へようこそ」への意欲を高める。 	
かわわる	<p>2 活動の約束を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表するグループは、1年生に楽しんでもらうために分かりやすく発表する。 ・ 1年生役のグループは、1年生になったつもりでアドバイスする。 ・ 他の発表の迷惑にならないよう行動する。 <p>3 発表練習 をする。</p> <p>(1) 5つのグループが、リハーサルを行う。</p> <p>(2) 実際の練習を見て、感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の活動の具体的視点を与える。 ・ 友達のグループのよかったところ、変えた方がよいところを1年生の視点で考えることを意識させる。 ・ 他のグループの発表が気にならないよう、体育館の発表位置を工夫する。 ・ 発表グループの中で司会係、メモ係を決めておく。 ・ 全員に感想発表させ、話し合いにかかわらせる。 ・ 1年生役の感想が表面的なものにならないよう、より 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生に喜んでもらえるように、声の大きさや、話し方に気をつけて練習することができたか。 [観察]

42分	<p>4 発表練習 をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習 と役割を交代し練習する。 	<p>よい発表になるためには何を工夫すればよいかという視点からアドバイスできるようにさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割を交代することで、自分たちの発表は1年生から見ると楽しい発表なのか振り返る機会とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよい点、直した方がよいところを見つけ相手に伝えることができたか。 <p>[発表・観察]</p>
ふかめる 15分	<p>5 活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに記入する。 ・感想を発表し合う。 <p>6 次時の活動内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の視点について振り返らせる。 ・振り返りカード 自己評価 感想 ・友達の意見から「良い発表になりそうだ」「楽しみだ」という期待感と意欲をもたせるようにしたい。 	

4 単元の活動・評価計画

次	第1次 わくわく広場で遊ぼう						第2次 わくわく広場へようこそ				
	(1)	2	3・4・5	6	7	8・9	10	11	12(本時)・13	14・15	14
	おもちゃ遊びをする	遊ぶものの作りの計画	遊ぶものの作り	中間発表会	改良	作ったおもちゃで遊ぶ	1年生を招待する計画・話し合い	招待のための準備	修正練習	1年生を招待	活動の振り返り
学習活動	でるでるマシーンを使って楽しく遊ぼう。	遊ぶものの作りの計画を立てよう。	グループの友達と協力して遊ぶものを作ろう。	友達の遊ぶものよいところやかえた方がよいところを見つけて教えよう。	わくわく広場に向けて、遊ぶものを改良しよう。	わくわく広場で遊ぼう。	1年生を招待する計画を話し合おう。	わくわく広場へようこそその準備をしよう。	わくわく広場へようこそ 1年生招待の練習の練習をしよう。	1年生に楽しんでもらえる、わくわく広場にしよう。	わくわく広場へようこそを振り返る。
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 自分たちで作ったおもちゃを使って遊ぶことを知る。 友達と楽しく遊ぶ。 感想を話し合う。 次時の活動を確認する。 	<ol style="list-style-type: none"> 前時を想起する。 作りたい遊ぶものを出し合う。 グループに分かれる。 グループごとにどんな遊ぶものを作るか話し合う。 次時の活動を確認する。 	<ol style="list-style-type: none"> めあてをつかむ。 グループごとに遊ぶものを作る。 本時の活動を振り返る。 	<ol style="list-style-type: none"> めあてをつかむ。 活動の約束を確かめる。 友達のつくったものを見たり友達の作ったもので遊んだり感じたことを発表する。 グループごとに反省をする。 活動を振り返る。 	<ol style="list-style-type: none"> 前時を想起する。 グループごとに改良する。 次時の準備をする。 	<ol style="list-style-type: none"> めあてをつかむ。 わくわく広場で遊ぶ。 感想を言い合う。 	<ol style="list-style-type: none"> 前時を想起し本時のめあてをつかむ。 1年生を招待するためにどんなことが必要か話し合う。 分担を決める。 次時の活動を確認する。 	<ol style="list-style-type: none"> めあてをつかむ。 グループごとに準備をする。 次時の活動を確認する。 	<ol style="list-style-type: none"> めあてをつかむ。 活動の約束を確かめる。 発表練習をする。 活動を振り返る。 次時の活動内容を確認する。 アドバイスを受けての練習をする。 	<ol style="list-style-type: none"> 前時を想起し本時のめあてをつかむ。 わくわく広場をはじめ。 グループごとに1年生を案内し、遊んでもらう。 1年生をおくる。 感想を話し合う。 後片づけを行う。 	<ol style="list-style-type: none"> めあてをつかむ。 わくわく広場の感想を話し合う。
評価の観点	関・意・態	・楽しくおもちゃで遊ぶことができたか。	・グループごとの話し合いに進んで参加したか。	・グループの友達と協力して遊ぶものを作ることができたか。		・作ったおもちゃで楽しく遊ぶことができたか。		・1年生に喜んでもらうために協力して準備をすることができたか。		・1年生が楽しめるように、進んで活動することができたか。	
	思・表		・どんな遊ぶものを作ったらよいか考えることができたか。		・楽しいおもちゃにするために改良することができたか。		・1年生に喜んでもらうためにはどんなことが必要かを考えることができたか。		・1年生に楽しんでもらうための工夫を考えて練習したり、友達に教えたりすることができたか。		
	気づき			・他のグループの遊ぶものよさに気付くことができたか。		・友達と協力し合うと楽しく遊べることに気付くことができたか。				・1年生とかかわり合って活動すると、楽しいことに気付くことができたか。	・遊ぶもの作りを通して、自分のがんばりやよさに気付くことができたか。